

基準化等作業・候補項目の現状

分野	基準化等に向けて作業を進めている項目	基準化等の候補として検討している項目
1. 少子高齢化への対応	1-1.チャイルドシートの側面衝突対策 1-2.チャイルドシートの安全対策(R129)	1-2.乗車人員の体格差等の考慮*
2. 歩行者・自転車乗員の事故防止・被害軽減対策		2-1.歩行者脚部保護性能の向上 2-2.対歩行者エアバッグ(Aピラー・窓枠等の頭部保護対策)
3. 新たなモビリティへの対応		3-1.燃料電池自動車の安全性 3-2.ハイブリッド自動車等の静音性対策* 3-3.超小型モビリティの安全性能* 3-4.電気自動車の安全性
4. 大型車がからむ重大事故対策	4-1.大型車側面方向指示器	4-2.大型特殊自動車のEBS
5. 乗員保護対策	5-1.ポール側突対策(R135)	5-2.頸部傷害軽減対策の強化 5-3.コンパティビリティ改善対応ボディ等の前面衝突対応(R94) 5-4.シートベルトリマインダー 5-5.被追突防止警報・ヘッドレスト制御装置 5-6.任意設置された座席ベルト(R14,R16)
6. その他安全対策	6-1.番号灯(R4)* 6-2.追突時の燃料漏れ防止(R34)* 6-3.タイヤ単体騒音、ウェットグリップ及び転がり抵抗(R117)**	6-4.ドライブレコーダー* 6-5.EDR(イベント・データ・レコーダ)* 6-6.飲酒運転防止対策 6-7.DRL(Daytime Running Light)(R87) 6-8.ブレーキ・オーバーライド・システム 6-9.レーンキープアシスト 6-10.パーキングアシスト 6-11.緊急自動通報装置(e-call) 6-12.後写鏡(R46)* 6-13.LPG専用装置(R67)* 6-14.カーブ進入速度注意喚起装置 6-15.オートライト

*：平成23年交通政策審議会報告書中取り組むべき事項として挙げられているもの
 (一)見え消し：平成23年交通政策審議会以降に、直近において作業が完了したもの
 赤字：次回改正等を予定しているもの

(参考)主な車両安全対策(基準・アセス・ASV)の検討状況

分野	安全基準	自動車アセスメント	ASV・SIP
少子高齢化への対応	・チャイルドシートの側面衝突対策 ・チャイルドシートの安全対策(R129) ・乗車人員の体格差等の考慮*	・チャイルドシート性能評価の向上(2018年開始予定)	
歩行者・自転車乗員の事故防止・被害軽減対策	・歩行者脚部保護性能の向上 ・対歩行者エアバッグ(Ａピラー・窓枠等の頭部保護対策)	・歩行者保護性能評価の向上(2016年開始予定) ・対歩行者AEBS(2016年開始予定) ・対自転車AEBS ・配光可変型前照灯 ・夜間前方歩行者注意喚起装置	・歩車間通信による運転支援システム
新たなモビリティへの対応	・燃料電池自動車の安全性 ・ハイブリッド自動車等の静音性対策* ・超小型モビリティの安全性能* ・電気自動車の安全性	・燃料電池自動車の燃料漏れ	
大型車がからむ重大事故対策	・大型特殊自動車のEBS ・大型車側面方向指示器		・ドライバー異常時対応システム
乗員保護対策	・頸部傷害軽減対策の強化 ・コンパティビリティ改善対応ボディ等の前面衝突対応(R94) ・シートベルトリマインダー ・被追突防止警報・ヘッドレスト制御装置 ・任意設置された座席ベルト(R14,R16)	・乗員保護性能評価の向上 ・総合安全性能評価の対象拡大(軽トラック等)	
自動運転関係	・自動操舵(ACSF) ・安全OBD/EDR(イベント・データ・レコーダ) ・レーンキープアシスト ・パーキングアシスト	・LKAS(2017年開始予定)	・運転支援に関するHMI ・車車間通信による運転支援システム
その他安全対策	・ドライブレコーダー* ・EDR(イベント・データ・レコーダ)* ・飲酒運転防止対策 ・DRL(Daytime Running Light)(R87) ・ブレーキ・オーバーライド・システム ・緊急自動通報装置(e-call) ・後写鏡(R46)* ・LPG専用装置(R67)* ・タイヤ単体騒音、ウェットグリップ及び転がり抵抗(R117)* ・カーブ進入速度注意喚起装置 ・オートライト	・後方視界情報提供装置(2015年開始予定) ・事故自動通報装置(2017年開始予定) ・ふらつき注意喚起装置 ・踏み間違い防止装置	・運転支援システムに対するドライバの過信対策 ・ASV技術に関するメーカ側による配慮事項対策

※青字は国際基準として議論されているもの

※緑字は開始時期決定済のもの

※紫字はSIP(戦略的イノベーション創造プログラム)